



クリスマスの本



名古屋市図書館発行

読むめやす ★0~2歳 ★★★3~4歳 ★★★★★5~6歳

さんさんさんかく

得田之久/ぶん 織茂恭子/え 童心社 絵本 ★



赤いさんかくと緑のさんかくは、ぷちぷちぷっちゃん、いちごに。黄色いさんかくとオレンジのさんかくは、くるくるくるん、かさに。いろいろな色のさんかくが楽しい音とともに身近なものにかわります。そして、色とりどりの小さなさんかくと、深緑の大きなさんかくは…クリスマスツリーに！

よいしょよいしょ

(紙芝居)

まついのりこ/脚本・絵 童心社 ★



「よいしょ よいしょ。」と、たこくんやうまくんたちがひもをひっぱります。みんなで一緒にかけ声をかけながら、出てくるものを想像しつつ待つのが楽しい紙芝居。最後の場面は8種類の絵から選べます。クリスマスシーズンには、サンタクロースやケーキの絵が使いそう。

おたすけこびとのクリスマス

なかがわちひろ/文 コヨセジュンジ/絵 徳間書店 絵本 ★★



クリスマスイブの夜、サンタさんからプレゼントをあずかったこびとたち。トラックやブルドーザー、クレーン車など、はたらく車をうまく使いながら、こびとたちは力を合わせてプレゼントを、ある家まで届けます。細かな描き込みが、文章にはないこびとたちの仕事ぶりを伝えています。

クリスマスのふしぎなはこ

長谷川摂子/ぶん 斉藤俊行/え 福音館書店 絵本 ★★



ぼくがひろったはこの中には、サンタさんがいました。はこの中のサンタさんは、これから出発するところ。森の中を行き、知らない町を通り、そしてぼくの町へやってきます。はこをのぞくたびに、ぼくのうちに近づいてくるサンタさんを見ながら、サンタさんを待ちわびる気持ちが高まります。

こうさぎのクリスマスツリー

(紙芝居)

渡辺享子/脚本・絵 童心社 ★★



こうさぎの兄妹は、町できれいに飾られたもみの木を見て、自分たちもクリスマスツリーがほしくなります。次の朝早く、お母さんうさぎにつれられて山の上に行くと、もみの木に降る小さな氷のかけらが朝日をあびてキラキラ光っていました。静かな雰囲気の中にクリスマスの喜びを感じます。

サンタのおまじない

菊地清／作・絵 富山房 絵本 ★★



クリスマスイブにとどいたプレゼントは、きれいなやさいかいっぱい！でもおまじないをとるやると、あらふしぎ！ちょきちょきぱちんと、やさいが切り紙のように切れて、クリスマスを彩るいろいろなものになります。これなーに？とたずねて、子どもとやりとりを楽しめます。

まどからおくりもの

五味太郎／作・絵 偕成社 絵本 ★★



プレゼントをくばるサンタクロース。窓の中に見えるねこの女の子にリボンをおくりましたが、ページをめくると、ねこの女の子だと思ったのは間違いだとわかります。しかけ穴のあいた窓に見える絵から、誰のおうちか想像したり、めくって楽しんだりできます。おおぜいで楽しめる大型絵本もあります。

めがねうさぎのクリスマスったらクリスマス

せなけいこ／作・絵 ポプラ社 絵本 ★★



ぐっすり眠りこんでしまったサンタさんにかわって、うさことおばけは一生懸命にプレゼントをくばります。サンタさんから感謝された二人は、プレゼントをもらいます。おばけはクリスマスケーキを、うさこは何と、たくさんめがねを。ほのぼのとしたおかしみのあるお話です。

おおきいつリーちいさいツリー

ロバート・バリー／さく 光吉夏弥／やく 大日本図書 絵本 ★★★



もうすぐクリスマス。ウィロビーさんのおやしきにも大きなツリーが届きました。でも、大きすぎたので先を切ります。ツリーの先っぽはほかの人の手にわたりながら小さくなり、最後はねずみのもとへ。みんなでツリーを分け合い、幸せなクリスマスを迎える、あたたかなお話です。

ぐりとぐらのおきやくさま

なかかわりえこ／さく やまわきゆりこ／え 福音館書店 絵本 ★★★



のねずみのぐりとぐらが森でみつけたあしあとは、ふたりの家につづいていました。玄関のながぐつ、赤い帽子…お客様はどうやらサンタクロース。なんとケーキを焼いてくれていました。ケーキのにおいに友だちが集まり、楽しい夜をすごします。親しみやすいぐりとぐらのお話です。

ちいさなろば

ルース・エインズワース／作 石井桃子／訳 酒井信義／画 福音館書店 絵本 ★★★



ひとりぼっちのろばが、脚をいためたトナカイのかわりにそりをひくことになりました。サンタクロースが、てつだいのお礼にプレゼントをくれるというので、ろばは「ともだちをください」と言いました。願いがかなったろばの幸せな気持ちとサンタクロースのやさしさが、しみじみ伝わってきます。